

日本比較薬理学・毒性学拡大評議会 議事録

日時 平成 16 年 9 月 11 日 (土) 第 138 回日本獣医学会

場所 北海道大学高等教育機能開発センター

議長：唐木先生 (日大)

国公立大学獣医学協議会及び全国獣医学関係代表者会議の報告 (唐木先生)
獣医学教育改善に関する文部科学省評議会の回答は、改善の必要性は認めているが、具体的な数字 (タイムスケジュール、達成目標など) が盛り込まれていないこと、また今後は各大学の自助努力を見守り、その結果について検証・評価をしていく方針であることが説明された。問題点は残っているが、公に改善の必要性を認めている点では進歩との意見が出された。また獣医師会から獣医学教育を外部から評価する案が提案された。

私立大学獣医学協議会の報告 (種池先生・酪農大)
私学大学院レベルの総合評価の草案が提出された。また学部レベルの改善の達成度の評価項目も決定され、どちらも今年度中に正式に配布する予定。私大の獣医学教育充実の要望書が作成され、今後のスケジュールが決定した。

薬理・毒性分科会の会則の変更について (唐木先生、尾崎先生・東大)
平成 7 年より施行されている現会則に、現状とそぐわない点が見られるため変更についての提案がなされた。現会則にのっとり提案が了承され平成 16 年 9 月 11 日付けで新会則が施行された。主な変更点を以下にあげる。

- (1) 本会の名称を日本比較薬理学・毒性学会 (Japanese Society of Comparative Pharmacology and Toxicology) に変更する。
- (2) 学会会員以外の一般会員の参加を認める。
- (3) 副会長は 2 名とする。
- (4) 第 4 章春期学会企画委員に関する条項は削除 (獣医学会本体に同様の組織が存在するため)。

学会ホームページ立ち上げの進行状況について (尾崎先生)
すでに UMIN に場所を確保済。一ヶ月以内に立ち上げる予定であることが報告された。本学会の内容とともに、今までの経緯などの記録を載せる予定。変更

した会則も HP に掲載される。

平成 17 年度春期獣医学会企画シンポジウムについて（堀先生・東大）
板倉学会長（理研）の意向に従って、スペシャルレクチャー、シンポジウム、
プラットフォームセッション、ポスターについて本学会からの提案内容が提示
された。詳細は別紙参照。